

Salve

サルヴェ

2024
2025

Vol.

3

The Salvation Army in Japan Annual Report

救世軍 年次報告



救世軍は1865年にイギリスで誕生し、1895年から日本でも活動しています。



救世軍司令官
スティーブン・モーリス

ごあいさつ

日本での活動130年を迎え、神様の変わらないお恵みと、私たちの奉仕のために皆様から賜りました惜しみないご支援に、心より感謝申し上げます。

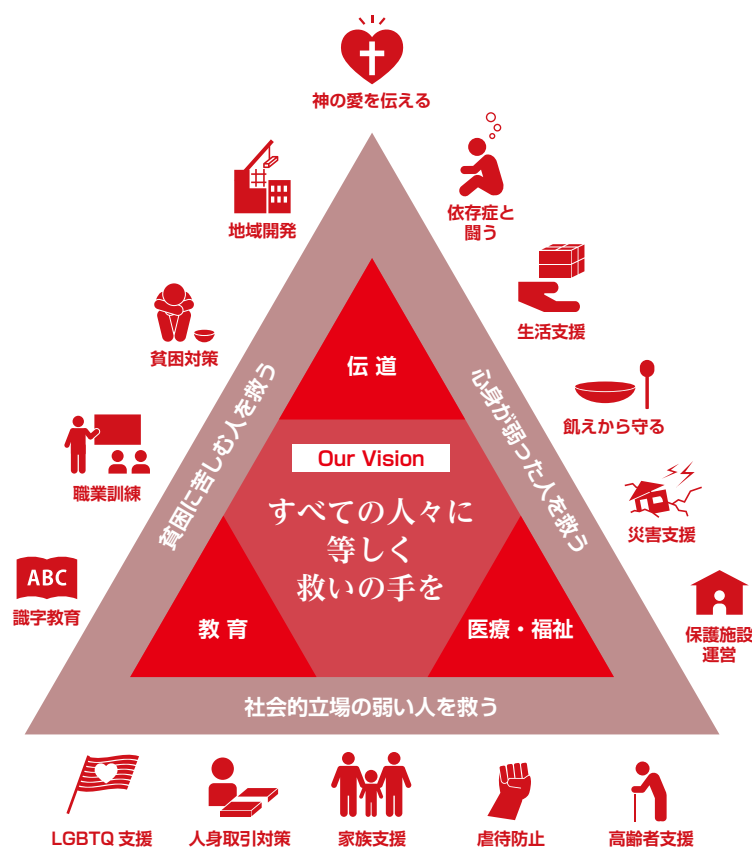
長い歴史の中では変化も訪れます。熟慮と祈りを繰り返した結果、救世軍ブース記念病院の運営は、2025年7月よりタムスグループに引き継がれることになりました。地域医療の維持と職員の雇用継続を祈ったことに対する神様のお導きです。

「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。」（ペトロの手紙一 4章10節）

助けが必要な人々にさまざまな形で手を差し伸べ、支えることを私たちの変わらない使命として、今後も取り組んでまいります。皆様の上に神様の豊かな祝福がありますように。

INDEX

ごあいさつ	01
特集	
救世軍日本軍国130周年	02
私たちが果たしてきた役割	03
時代に合わせた新たな取り組み	05
会計・募金のご報告	07
信徒の声	08
数字で見る世界の救世軍	09
世界での主な活動	10
数字で見る日本の救世軍	11
スタッフの声	11
日本の救世軍拠点一覧	12
日本救世軍の一年	13
2025～2026年 今後のイベントスケジュール	14



私たちの使命は、世界中の困窮者・弱い立場にいる人々に、支援や援助にとどまらない本当の「救い」を提供すること。すべての人が安心・安全で明るい未来を描けるような日々と社会を目指しています。



救世軍日本軍国 130 周年

— 心は神に 手は人に、皆様と共に —

救世軍日本軍国は、1895年の創立以来130年にわたり、キリスト教の精神に基づき、時代の変化とともに困難を抱える人々に寄り添い、支援を続けてまいりました。日本の発展や施政範囲の広がりに合わせて活動を拡大し、戦中期には国際本部との連絡が絶たれる中でも、自主的に奉仕活動を継続し、現在にいたります。

国の社会福祉の諸制度が未整備な分野を補う取組みを先駆けて行い、制度の整備とともにその役割を行政やNPOへと引き継ぎながら、新たな支援が必要とされる分野に活動の場を移しています。これまで支えてくださったすべての皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後も変わらない使命感をもって、社会の中で最も弱い立場にある方々に仕えてまいります。



女性の権利保護と自立支援

私たちは、「神から与えられた命を売買してはいけない」というキリスト教の精神に基づき、創立して間もない頃から、女性の自立支援活動に取り組んできました。

まだ日本が貧しく、男尊女卑が当たり前の時代には、凶作の時に女性が身売りされ、娼妓として働くことは珍しくありませんでした。私たちはそうした慣習に異を唱えて吉原遊郭で廃娼運動を行い、旧来の価値観をもつ人々から襲撃されたこともありました。

日本で初めて女性自立支援施設を設立し、現在も東京都内で2か所の施設を運営しています。

DVや貧困から逃れてきた女性の保護と自立支援は、現在も力を入れている活動の1つです。

その時代ごとの困窮者を救う

私たちの活動の基本は「3つのS」スープ（食事）、ソープ（衛生、住む場所）、サルベージ（救い）です。食べ物の必要な人には食べ物を、住む場所のない人には清潔な家や仕事を提供し、その上で魂の救いのために聖書のメッセージを伝える——この考えは創立以来変わりません。

公の制度に先駆け、社会の隅で困窮する人についての時代も寄り添ってきました。対象は、刑務所出所者、日雇い労働者、失業者、貧困家庭、最前線にいる軍人、街頭生活者、女性、青少年、戦災孤児などさまざまです。

公共制度やNPOの支援体制が整ったら、その役割を引き継ぎ、私たちは新たに支援が必要な人の元へと向かいます。このようにして時代のニーズにあった支援を続けています。

私たちが果たしてきた役割



1900年、廃娼運動を開始する。『ときのこえ』婦人救済号を吉原遊郭で頒布。数十人の暴徒に襲われ、5人の負傷者を出す。



1912年、「救世軍病院」を東京・仲御徒町に開設し、巡回診療を開始する。

あらゆる人に医療・福祉を提供

私たちは、貧しい人にも平等に医療を提供する目的で病院や福祉施設を設立・運営してきました。

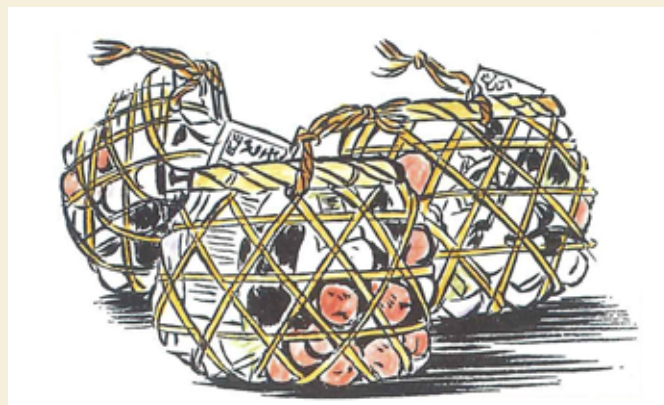
最初に設立した病院は1912年に東京・仲御徒町に開設した救世軍病院です。救世軍病院では、巡回診療を行い、看護婦の養成を行っていました。

結核療養所から始まった、東京・杉並区のブース記念病院（2025年に譲渡）、東京・清瀬市の救世軍清瀬病院は現在も地域医療の拠点となっています。

その他にも、ホスピス、福祉施設、特別養護老人ホームを運営し、訪問介護も実施しています。



1923年、関東大震災発生。東京市が5か所に設けたバラックに救世軍が「隣保館」を設置し、被災者支援を行う。



1906年、「慰問かご」を送る運動を開始。下谷、芝、四谷で1,000世帯に慰問かごを届ける（歳末助け合い運動の始まり）。

山室軍平夫妻の献身的働き

日本の救世軍の歴史を振り返るとき、山室軍平とその妻・機恵子を抜きに語ることはできません。

2人は、困窮する人々を救うために、献身的に働きました。また、渋沢栄一や尾崎行雄といった、時の有力者とも友好な関係を築き、組織を超えて多くの先駆的な取り組みを実施してきました。

1896年に士官（伝道者）として任官された山室軍平は日本の救世軍の発展に尽力し、1926年に日本人として最初の司令官に任命され、国からの叙勲も受けました。

災害被災者への迅速な支援

災害大国である日本では、各地で毎年のように、地震や洪水などの大きな災害が発生します。

そうした災害が起きるたびに、私たちはすぐに被災地へ赴き、食事の炊き出し、がれきの撤去、産業保護などの活動を実施し、組織的に災害支援を行ってきました。また、現地に行けない人の愛を届けるための、募金活動も欠かしません。

私たちが初めて行った災害支援は、1896年に東北地方を襲った大津波の時です。1923年に起きた関東大震災では、自らも大きな被害を受けながらも、東京市が5か所に設けたバラックに「隣保館」という支援の拠点を設置し、被災者支援にあたりました。

国や自治体による支援活動が整備され、民間ボランティアが組織的に支援活動を行う体制が整った今、多くの被災地で私たちは良い協力関係のもと支援を行っています。

募金活動で支援の窓口を提供

年末になると、さまざまな「歳末助け合い」募金が行れますが、実は、「歳末助け合い」は私たちが使い始めた言葉でした。

私たちの募金活動の歴史は長く、始まりは1896年に行われた克己週間募金にまで遡ります。その後は慰問かごをルーツとし、俳句の季語にもなっている社会鍋（1909年～）や、感謝祭募金（1901年～）など、季節や目的に応じて展開し、現在も続けられています。

また、大きな災害などがあった時に臨時の募金活動を行い、広く社会の人々が、困窮する人を支援するための窓口を担っています。

130年の詳しい歩みは
HPでご覧いただけます



時代に合わせた新たな取組み

リクエストする喜びと、社会からの愛を伝える

エンジェルツリープロジェクト

このプロジェクトは、米国・バージニア州リンチバーグという街のショッピングモールで始まりました。はるばる海を渡り、日本では2018年より行っています。

プロジェクトの内容はこうです。救世軍が運営する児童養護施設で生活をしている子どもたちが、それぞれの「欲しいクリスマスプレゼント」を書いた短冊を、クリスマスツリーに飾ります。そして、サポーターの方々が任意の短冊を選び、そこに書いてある物を購入して施設へ寄贈。子どもの元へと届けられます。

おかげさまで、2024年は194名の子どもたちへプレゼントを贈ることができました。

親と離れて施設で育った子どもの中には、自分が欲しい物をおねだりした経験がない子どももいますが、それは決して珍しくはありません。クリスマスに限らず、プレゼントは自分からリクエストするものではなく、一方的に与えられることが当たり前だったからです。

エンジェルツリープロジェクトを通じて、子どもたちは、欲しい物をリクエストする喜びを経験でき、自分を愛してくれる人が社会にいることを知ることができるのです。

エンジェルツリーの仕組み

子どもたちが自分の欲しい物をクリスマスツリーに掲示

施設へ寄贈

プレゼントが楽しみで毎日ドキドキしながら過ごしていました。

欲しいものだったので嬉しかったです！

プレゼントとても嬉しかったです！大切に使います。

サポーターが書いてあるプレゼントを購入

★2025年4月19日オープン！

「人とモノの循環」を目指すバザーの新店舗

ReShare Store TOKYO Azabu

(リシェアストア トーキョー麻布)

国籍、年齢、文化の壁を超えて誰でも気軽に来店できて、より快適に、なお安く。地域社会との接点をさらに深める拠点として、洋服、バッグ、アクセサリ、本、雑貨、せともの、骨董品など、さまざまな商品の販売をしています。月に1回ドネーションデイを行っており、地域の皆様からの物品のご寄付を受け付けております。東京・港区元麻布にて毎週金・土曜日に営業。



リシェアストアとは、単なるリサイクルストアを超えて「人とモノの循環」を目指す空間です。これまででもそうであったように、私たちは、単にモノが循環するだけでなく、そのことを通じて愛着や大切に扱うという考え自体も循環していくことを願っています。

店長 田中 祐太



コンセプトムービー



Instagram

2024年10月より地域に根ざして活動中

救世軍 NewHope (ニューホープ) コミュニティーセンター

救世軍 NewHope コミュニティーセンターは、子どもが自らの才能を見だし、大人も新たに学ぶ喜びを発見できるスペース。英語、アート、ブラスバンド、聖書など、さまざまな創造的なプログラムを実施しています。

名前のとおり、地域の「新しい希望」となることを目標にし、スタッフ一同、神の愛を実践していくことに尽力しています。スタッフや教会が提供する安心安全で心の落ち着く空間は、通りすがりの子どもが飛び入り参加するほど開放的です。



Instagram



イベント開催の様子



ワークショップ開催の様子

救世軍では毎年、社会鍋を題材にした俳句のコンテストを行っています。

第9回救世軍社会鍋俳句コンテスト

選評 『少年にとってこの世は不思議に満ちた場所。爺(じいじ)との交わりの中で少しずつ学んだことの一つが社会鍋。目を丸くして「はじめまして」と鍋を覗きました。』

はじめてまして
ボクも爺(じいじ)と
社会鍋

最優秀賞 東京都豊島区吉岡敏郎

社会鍋
看護師の母は
八十歳

優秀賞 徳島県阿南市 澤田孝利

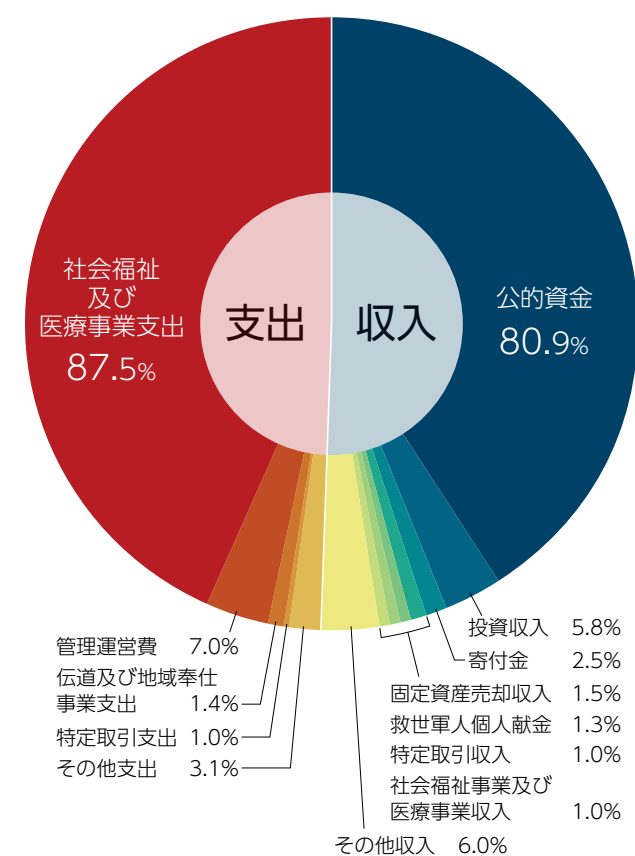
社会鍋
明日は親父の
三回忌

優秀賞 岐阜県加茂郡細江隆一

会計・募金のご報告

支出額が収入額に迫る状況と なっています

救世軍は国内で1つの病院、17の社会福祉施設を運営しています。収入として公的資金が大きな割合を占めていますが、医療・社会福祉事業の支出が収入額に迫り、公的資金だけではまかないきれない状況です。寄付金は収入の中で3番目に大きい割合となっています。より支援を広げるために、皆様のご協力をお願いいたします。



※この円グラフは救世軍新国際会計基準に準拠した日本の救世軍の連結決算です。社会福祉法人救世軍社会事業団の単独の財務諸表については、ホームページをご覧ください。
<https://www.salvationarmy.or.jp/about-org>

※救世軍の財務は、救世軍本営財務管理部による内部監査、ユアサハラ法律特許事務所の公認会計士による監査、国際本部である救世軍万国本営の会計検査官による監査の三重の体制で監査されています。また、社会福祉法人救世軍社会事業団の財務は、監督官庁による監査を受けています。

募金へのご協力を賜り ありがとうございました

救世軍では年に4回の募金と、通年で救世軍サポート会募金を行っています。皆様からご支援いただいた資金は、それぞれの募金の目的に則した活動に活用され、救いを求める多くの人々の助けになっています。

きずな献金 (旧「一元献金」)

1,202,947 円

香港の救世軍のグループホームで暮らす子どもたちの、トラウマを癒す環境整備のため

救世軍サポート会

4,454,950 円

救世軍の活動資金として

社会鍋募金

7,753,240 円

災害支援、街頭生活者支援、児童・母子支援などのため

克己週間募金

8,562,199 円

海外の救世軍の活動資金として

感謝祭募金

10,267,047 円

国内の救世軍の活動資金として

信徒の声

私の“居場所”を与えてくれた。

私は、中学校を出てから、各地でさまざまな仕事を転々としてきました。結婚もして子どもも授かりましたが、仕事は単身赴任ばかり。給料はほとんど遊びに使う生活をしていました。

当然ながら結婚生活は破綻し、仕事もうまくいかなくなり、お金もないままにたどり着いた東京駅周辺で、そのまま路上生活を送ることに。人間関係のトラブルは絶えず、「自分の命はどうなってもいい」という心境で毎日を過ごしていました。

救世軍との出会いは、路上で初めて迎える冬に、街頭生活者支援に並んだ時でした。その後、京橋小隊（教会）を初めて訪れた時には、何とも言えない、やさしい笑顔で女性士官（伝道者）が出迎えてくれました。

やがて私は小隊へ通うようになり、救世軍から多くの支援をいただき、どこにも居場所のない疲れきった身体を休ませてもらいました。

ある日、大きな集会で祈りを献げると、「どこから来ましたか？」と聞かれました。「京橋小隊です」と答えた瞬間になぜか涙が溢れ出し、とまらなくなりました。親の死にも涙を流さなかった自分がです。

その時から、私の心は変えられました。現在は京橋小隊に所属する信徒として、私のような人のためにできることを、小隊の近くの公園にいる街頭生活者の世話や、冬の支援活動を継続しています。



藤原忠重さん

すぐに可能なサポートの方法は3つ

助けを必要としている人々への支援の提供範囲をより広げていくために、皆様のサポートをお願いいたします。個人・企業・団体を問わずにできるサポートの方法は次の3通りです。

支援を
長期的に

サポート会への入会

救世軍の働きを、より多くの人に、より充実したものに。救世軍サポート会は救世軍の働きを一層充実させるために設けられています。



- 年会費（一口）
 - 個人 3,000 円
 - 団体・法人 10,000 円

- 会員特典
 - 📖 会報送付
 - 📢 イベント告知
 - ❤️ ボランティア活動の案内

パソコン・
スマホで

ホームページからの寄付

クレジットカード、郵便振替口座、銀行振込、現金書留を選択できます。クレジットカードでは一度の募金のほか、毎月定額募金、毎年定額募金も選ぶことができます。



SDGs の
視点で

バザー活動への参加

使っていない、あるいはもう使わなくなった衣料、電化製品（型式の新しいもの）、書籍などをご寄贈ください。売上金は支援活動の資金として役立てられます。

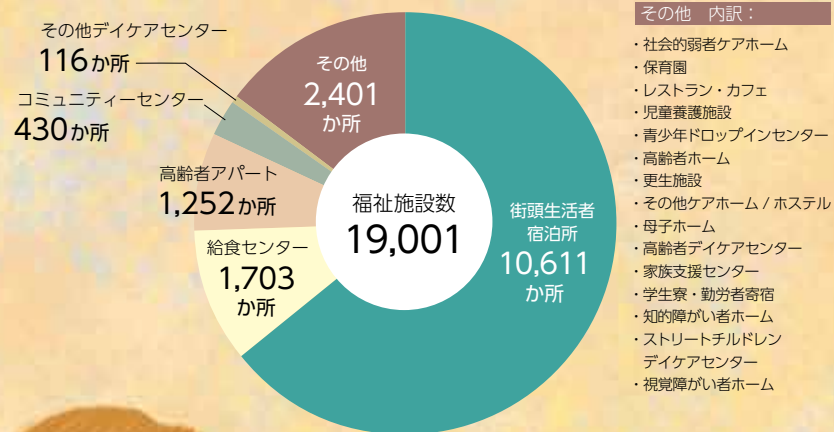




数字で見る世界の救世軍

救世軍は、キリスト教（プロテスタント）の教会と、社会福祉、教育、医療施設等を通して活動しています。1865年、ロンドンの貧しい人々、社会から顧みられない人々を物心両面から救うためにその活動を始めました。現在は世界134の国で助けを必要としている人々のニーズに応えながら、神の愛を伝えています。

福祉



国際本部

救世軍万国本営	本部	イギリス・ロンドン
万国総督	大将	リンドン・バッキンガム (Lyndon Buckingham)
救世軍が活動している国	小隊（教会）・分隊（伝道所）	
134	14,893	か所
救世軍士官（伝道者）	職員	
25,840	109,215	人

留置場支援数	40,091	人	困窮者支援数	10,873,524	人
失踪人探索取扱数	2,413	人	刑務所教誨訪問数	45,297	回
失踪人発見数	2,891	人	刑務所出所者支援数	19,337	回
自殺防止パトロール支援数	213,879	人	定住促進事業	3	件
職業紹介取扱数	67,087	人	夏期福祉キャンプ	305	件
カウンセリング	260,431	人			

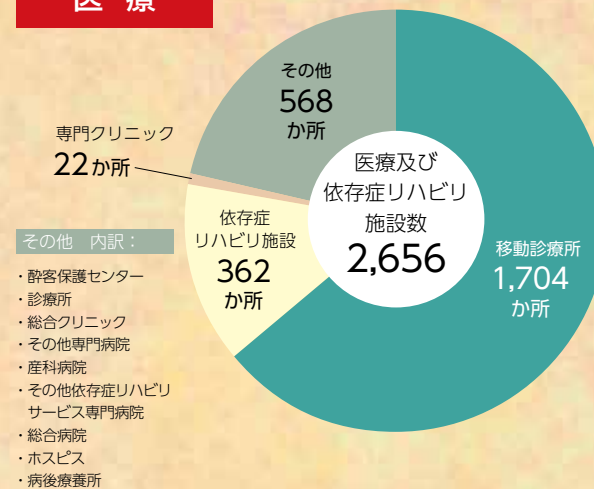
●地域開発

小隊併設地域開発プログラム	53,148	件
バザー場	2,561	か所
リサイクルセンター	38	か所

●災害支援

災害被災者支援数	1,129,175	人
災害復興支援事業	99	件
難民支援事業	73	件
難民生活支援事業	61	件
その他災害被災地支援事業	31	件
災害給食車両	1,318	台

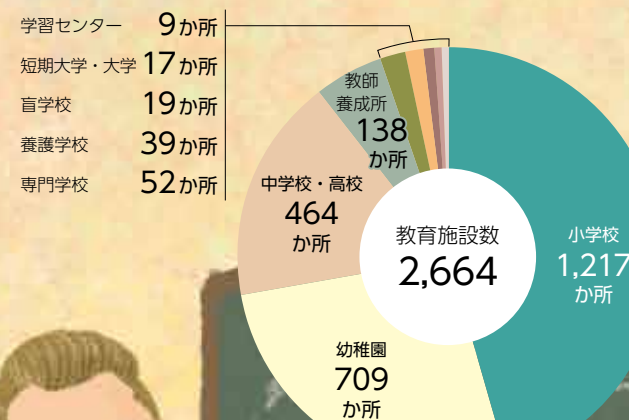
医療



医師・看護師	5,441	人	その他医療従事者	1,825	人
--------	-------	---	----------	-------	---

外来患者数	1,314,317	人	入院患者数	134,228	人
-------	-----------	---	-------	---------	---

教育



教師	21,228	人	生徒	560,193	人
----	--------	---	----	---------	---

世界での主な活動

災害や紛争が発生した際は、その国の救世軍はもちろん、近隣の国からも迅速に支援に向かいます。最近では、2025年1月7日から発生した米国ロサンゼルス山火事と、同年3月28日にミャンマーで起きた大地震でも支援活動を行いました。

●米国ロサンゼルス山火事



救世軍は発災後すぐに緊急災害支援チームを派遣。各所の避難所で食事や水、衣類の提供とグリーフケアを行い、さらに寝具、応急処置、救急医療、メンタルヘルスサポートも提供しました。



ロサンゼルスドジャースのフレディー・フリーマン選手夫妻が救世軍の災害支援活動のために \$100,000 を寄付。フリーマン選手は敬虔な救世軍人（救世軍に所属するクリスチャン）です。

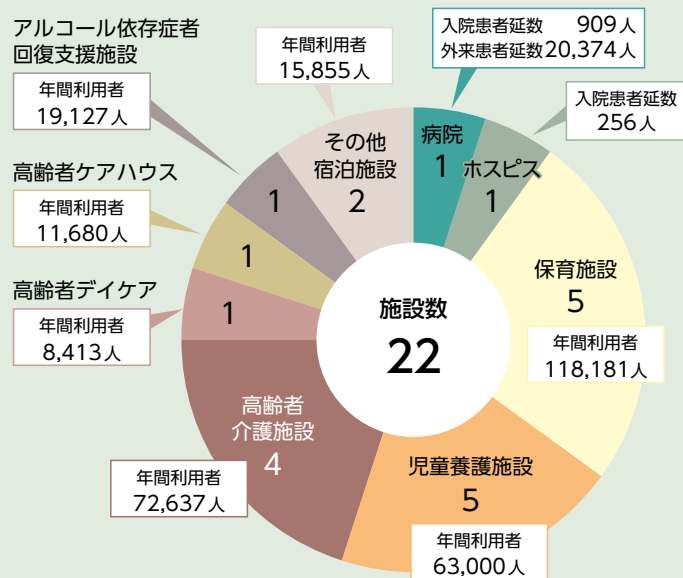
●ミャンマーの巨大地震



地震発生から4日後には、複数の検問や山道を越えて、寝具、懐中電灯、飲料水、食料品などの緊急支援物資を携え、マンダレー地域に向かいました。情勢が複雑な紛争地域にもかかわらず、主要な都市圏外の遠隔地に居住している家を失った家族のために、現在も継続的な支援を行っています。

数字で見る日本の救世軍

日本での活動は1895（明治28）年に12人のイギリス人士官が横浜に上陸して始まり、日本人最初の士官である山室軍平のもと、結核療養所の運営や廃娯運動に取り組んできました。今年で130周年を迎える日本の救世軍は、宗教法人として小隊（教会にあたる）での伝道活動や病院の運営を、社会福祉法人として児童養護施設などの運営を行っています。



日本の救世軍	
小隊（教会）・分隊（伝道所）	
40か所	
救世軍士官（伝道者）	兵士（信徒）
135人	1,759人
職員	ボランティア
1,157人	199人
医師・看護師	その他医療従事者
166人	321人

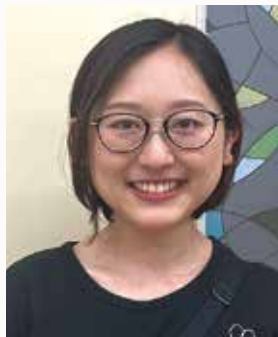


スタッフの声

立ち上がるきっかけになる“場所”を提供

利用者の女性たちは、さまざまな苦勞を乗り越えてこの施設に辿り着きます。ご本人たちが、「生きていてよかった」と思えるように、その先の道を探る上での大切な過程を、一緒に考えながら歩んでいけることは喜びを感じられる時もありますが、責任の重さも覚えます。その方の人生なので、こちらの価値観に巻き込み過ぎないようにし、ご本人の意思とその人らしさを大切にしたい、少しでもハッピーになってくれたらいいなと努めています。

過去に攻撃的な利用者さん方との関わりで、自分の力不足に落ち込んだ時もありましたが、私も多くのことを学んで成長し、「あなたは間違っていない、この先は良くなるよ」と、利用者に伝えられる存在でありたいです。



女性自立支援施設 新生寮
鶴田友里さん

日本の救世軍拠点一覧

社会福祉施設・病院

児童養護施設		女性自立支援施設	
★ 機恵子寮（グループホーム2戸）	東京都	★ 婦人寮	
★ 世光寮（グループホーム4戸）	東京都	★ 新生寮	
★ 希望館（グループホーム1戸）	大阪府		
★ 愛光園（併設：児童家庭・里親支援センター「明日葉」）	広島県		

保育園・保育所・認定こども園

★ 札幌市しせいかん保育園	☎ 011-204-9560
★ 桑園保育所 北海道札幌市	☎ 011-221-6630
★ 菊水上町保育園 北海道札幌市	☎ 011-821-2879
★ 佐野保育園 栃木県佐野市（併設：学童保育「佐野こどもクラブ」）	☎ 0283-22-4081
★ 呉保育所 広島県呉市	☎ 0823-21-4711

特別養護老人ホーム等

★ 老人保健施設・ブース記念老人保健施設 グレイス 東京都杉並区（併設：ブース記念ケアマネジメントセンター和田、ブース記念訪問介護ステーション ルツ・ナオミ）	☎ 03-3380-1248
★ 特別養護老人ホーム・恵みの家（ユニット型） 東京都杉並区	☎ 03-3381-7243
★ 特別養護老人ホーム・恵泉ホーム 東京都清瀬市	☎ 042-493-5161
★ ケアハウス いずみ（併設：ホームヘルパーステーション いずみ）	☎ 042-496-7575

アルコール依存症者回復支援施設

★ 自省館（救護施設） 東京都清瀬市	☎ 042-493-5374
--------------------	----------------

その他施設

男子社会奉仕センター 東京都杉並区	☎ 03-5860-2992
-------------------	----------------

バザー場

救世軍バザー場 東京都杉並区 2-21-2 オープン 毎週土曜日 9～12時 中野富士見町（東京メトロ丸ノ内線）より徒歩 10分	
救世軍バザー場江東出張所 東京都墨田区太平 4-11-3 オープン 第2・第4土曜日 10～13時 錦糸町（東京メトロ半蔵門線/JR）より徒歩 8分	
ReShare Store TOKYO Azabu（リシェアストアトーキョー麻布） 東京都港区 3-12-47 オープン 毎週金曜日・土曜日 10～16時 麻布十番（東京メトロ南北線・都営大江戸線）より徒歩 5分	☎ 080-6538-9484
寄贈品受付、お問合わせは	☎ 03-5860-2992

病院

救世軍清瀬病院（併設：介護医療院シャロン） 〒204-0023 東京都清瀬市竹丘 1-17-9	☎ 042-491-1411
〈病棟編成〉 医療療養病棟 60床、ホスピス緩和ケア病棟 25床、介護医療院 60床 合計 145床	
〈各部サービス〉 医療福祉相談、健康管理講座、栄養相談、患者相談窓口、チャレン相談窓口	

コミュニティセンター

救世軍 NewHope コミュニティセンター	☎ 080-4814-7194
------------------------	-----------------

教育機関・資料館

山室軍平カレッジ 〒166-0012 東京都杉並区和田 1-40-17	☎ 03-6256-8262
救世軍士官（伝道者）を養成する学校です。（全寮制・2年間）	

山室軍平記念救世軍資料館 〒166-0012 東京都杉並区和田 2-21-39	☎ 03-6256-8194
日本における救世軍の資料や、山室軍平に関する文書、資料を所蔵。 祝祭日を除く毎週土曜日に開館（10時～16時）しています。	

※★は社会福祉法人 救世軍社会事業団の施設

小隊（教会にあたる）

北海道連隊（地区）	
本部 札幌市北区北22条西5丁目1-5	☎ 011-788-5352
遠軽小隊 ☎ 0158-42-3409	札幌小隊 ☎ 011-788-5352
帯広小隊 ☎ 0155-23-4877	函館小隊 ☎ 011-788-5352

関東東北連隊（地区）	
本部 高崎市寄合町5-1	☎ 027-323-1337
桐生小隊 ☎ 0277-45-3117	仙台小隊 022-273-2368
前橋小隊 ☎ 027-231-9533	若松小隊 027-323-1337
高崎小隊 ☎ 027-323-1337	新潟小隊 025-229-2003
佐野小隊 ☎ 0283-21-5939	浪江小隊（休止中）
熊谷小隊 ☎ 048-522-2477	

東京東海道連隊（地区）	
本部 東京都墨田区太平 4-11-3	☎ 03-6261-5701
上野小隊 ☎ 03-3873-5386	杉並小隊 ☎ 03-6256-8191
大森小隊 ☎ 03-6272-9771	月島小隊 ☎ 03-5860-2994
川口小隊 ☎ 03-6261-5701	西新井小隊 ☎ 03-3889-3894
神田小隊 ☎ 03-6261-5701	横浜小隊 ☎ 045-714-6060
清瀬小隊 ☎ 03-3551-0337	静清小隊 ☎ 054-365-8270
清瀬小隊 ☎ 042-491-7600	浜松小隊 ☎ 053-452-6717
江東小隊 ☎ 03-6261-5702	名古屋小隊 ☎ 052-935-7875
渋谷小隊 ☎ 03-6261-2447	

西日本連隊（地区）	
本部 大阪市北区天神橋 3-6-20	☎ 06-6351-0084
京都小隊 ☎ 075-343-3726	広島小隊 ☎ 082-262-3776
天満小隊 ☎ 06-6358-6679	呉小隊 ☎ 0823-25-4794
泉尾小隊 ☎ 06-6551-9187	高知小隊 ☎ 06-6351-0084
神戸小隊 ☎ 078-341-4594	八幡小隊 ☎ 093-652-1584
岡山小隊 ☎ 086-227-9029	福岡小隊 ☎ 092-531-7418
福山小隊 ☎ 084-926-3151	

採用情報



救世軍の社会福祉施設では、その働きを支えていただける看護職、介護職のほか、相談員、支援員、ケアマネジャー、保育士などの職員を募集しています。

右のQRコードを読み取っていただくと、救世軍の社会福祉施設の紹介や採用情報のほか、お仕事説明会、講演会などの各種イベント情報が閲覧できます。



日本救世軍の一年

2024～2025年の
トピックより

5月



令和6年能登半島地震
第4回 食事（炊き出し）支援

6月



救世軍 NewHope コミュニティー
センター「こどもまつり」

7～9月



青少年部活動

8月



ミュージック・キャンプ

9月



感謝祭募金・人身取引被害者の
ための世界祈禱日

10月



召天者合同記念会

11月



救世軍チャリティーコンサート

12月



社会鍋・クリスマス

1月



冬季街頭給食

3月



克己週間募金

2025～2026年 今後のイベントスケジュール

2025年

7月～8月 候補生夏期訓練、キッズ・キャンプ、
夏期聖書学校

8月 ミュージック・キャンプ、
ユース・キャンプ

9月 感謝祭オンラインイベント、
感謝祭募金

9月28日 人身取引被害者のための
世界祈禱日

10月 士官志願者及び献身者祈禱月間

10月11日 召天者合同記念会（多磨霊園）

10月19日 きずな献金献納式

11月22日～23日 バッキンガム大将夫妻を迎えての
全国大会
チャリティー・コンサート、
大会聖別会

11月30日 社会鍋の日、アドベントに入る

12月10日～31日 社会鍋募金運動

12月21日 クリスマス聖日

12月25日 クリスマス

2026年

1月 初野戦（屋外集会）

3月 克己週間募金

救世軍全国大会 2025

救世軍万国総督リンドン・バッキンガム大将
が来日し、全国大会を開催します。
お誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。
（主催 救世軍本宮）

全国大会スケジュール

11/22（土）

14:00 バンドレイジング・チャリティー・コンサート
（@中央区立日本橋公会堂）

11/23（日）

10:00 大会聖別会
（@日本教育会館・9F 喜山倶楽部）

Salve（サルヴェ）

救世軍 年次報告 2024-2025

The Salvation Army in Japan Annual Report 2024-2025

発行者 代表者 スティーブン・モーリス

発行所 救世軍本営 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17

TEL 03-3237-0881

FAX 03-3237-3588

制作 株式会社 TARO WORKS

発行 2025 年 9 月

「Salve」はラテン語で「こんにちは」という意味です。救世軍から支援者の皆様への挨拶の思いを込めて、年次報告のタイトルとしました。また、英語では「Balm（軟膏）」と同じ意味があり、このタイトルで「傷をよくする」「癒しにつなげる」という救世軍の信条もあわせて伝えられたらと考えています。



救世軍の活動は
皆様のご寄付・ご支援により支えられています。

HPで寄付する



<https://www.salvationarmy.or.jp>

救世軍公式 SNS



・救世軍 The Salvation Army
・救世軍青少年部チャンネル



@SArmY_JP



@SArmY_JP



@SArmY_JP



@sarmyjp



救世軍の活動は、国連が進める「持続可能な開発目標（SDGs）」のうち、次の目標達成に貢献しています。



貧困をなくそう



飢餓をゼロに



すべての人に
健康と福祉を



ジェンダー平等を
実現しよう



つくる責任、
つかう責任